

# みんなの要望に応え 町職員が力を発揮するこれを高めるのがリーダーの役割です



笹川から始まった移動販売  
大平・境でも行われています

ほー、おら町  
ようやつてるの



## 町の提案を補助事業のモデルとして 国が全国に紹介

住民のみなさんの要望に応え、移動販売を昨年から行なっています。初め県に提案したら、「町の企画は大変いい内容だから、直接国へ説明に行ってほしい」と助言され総務省に要請。これが国の補助事業に加えられました。



他に、イノシシやクマ対策の電気柵設置も、住民参加型が評価され北陸農政局長賞を受賞しました。

このように、国や県の事業を上手に活用すれば、予算をしっかり獲得することができます。いま、町職員のみなさんは、こうした点でも研究し努力しています。

## 子育て支援で

### 子どもの医療費助成

- ◎ 約500名の請願署名で、3年前から中学生まで拡大。

### 学童保育

- ◎ 昨年度から本格実施。

### 休日保育

- ◎ 保護者の願いで、今年度から実施。

## 医療・介護では

### 口腔ケア

- ◎ 町の医師会の提案で、寝たきりの方に実施。

### 病気の予防に

- ◎ 胃がん予防のピロリ菌検査に助成。
- ◎ 骨密度を健診に加える。
- ◎ 成人の肺炎球菌ワクチン接種に助成。

### 有磯苑の増設

- ◎ 30床増床に町が支援。

## 地域経済活性化に

### 住宅リフォーム助成

- ◎ 建築関連3団体の提案で事業化。2年間に220件の利用で、経済効果は約4億円に。

### まちバス

- ◎ 通勤通学、通院、買い物支援に本格運行。

### 工場増設に支援

- ◎ 町の融資制度を拡充し、町内企業の拡張に支援。雇用増も。

### 地元木材

- ◎ 新しく建設した公共施設に地元木材を活用。また、森林整備の間伐に所有者にも支援。

私が議員をしていた頃は、役場の雰囲気がピリピリしていました。新しい町政になって町職員がいろんな提案をするようになり、自由にモノが言えるようになつたと実感しています。新年度予算では、40の新規事業を町職員が町長に提案し、3月議会で、全会一致で承認されています。

明るくする会代表 中陣 将夫

朝日町を明るくする会  
明るくする会 ニュース第4号  
朝日町を明るくする会の活動を紹介します  
朝日町泊446-1 電話：83-2509  
2014年5月発行

# 移り住むならこの町へ 住み続けたい 朝日町に

## — みなさんと一緒にすすめるまちづくり —

町民のみなさんからたくさんの方の要望が寄せられ、町職員がそれに応えようと知恵を絞り、町長にいろいろ提案してくれるようになりました。この流れを定着させることが町発展のカナメでありリーダーの責務です。

### 子どもたちの

#### 元気な声がひびく町に

- 小中学校の給食費の負担を減らします。
- 学童保育を充実します。
- 病児、病後児保育にとりくみます。



楽しい学校給食

### 仕事をふやし地域に活力を

- 住宅リフォームへの助成を引き続きすすめます。
- 企業誘致に努め、若者の定住対策を強めます。
- 街なかのにぎわい・中小企業対策にとりくみます。
- 農林漁業への支援を強めます。



住宅リフォームの工事

### 長寿を互いに

#### 喜びあえるように

- まちバスは、みんなの声をお聞きし利用しやすくなります。
- 食材の移動販売を充実します。

### 泊高校の存続はぜひ

- 町にとって大切な存在です。



泊高校

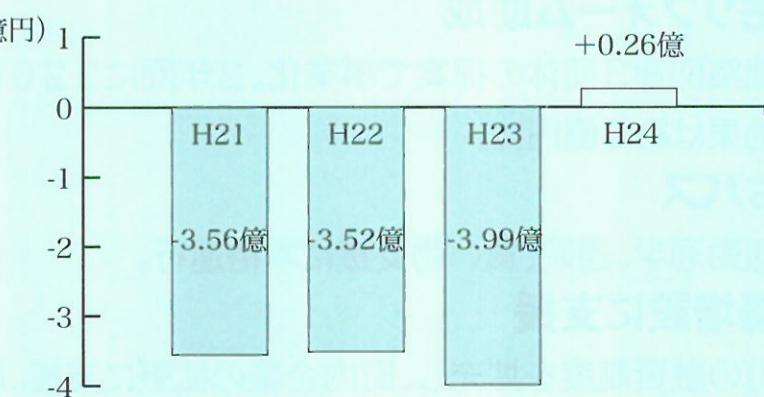
## あさひ総合病院の改善で

### 困難な中でも病院関係者の努力で一步ずつ前進

#### この4年間（平成21年度と24年度の比較）

- |               |          |   |        |
|---------------|----------|---|--------|
| ○ 常勤の医師       | 10名      | → | 13名    |
| ○ 看護師（常勤・非常勤） | 94名      | → | 110名   |
| ○ 外来患者        | 11.8万人   | → | 12万人   |
| ○ 入院患者        | 3万7,990人 | → | 4万688人 |
| ○ 夜間休日救急の復活   |          |   |        |

#### 初めて単年度黒字に（平成24年度）



\*病院経営検討委員会の資料より

これからも医師・看護師の確保に全力で